

製品安全データシート

作成日：2015年06月01日

改訂日：2025年12月10日

確認日：2025年12月10日

1. 化学品及び会社情報

製品名 [構成品名]	UF-フルオロセル SF
供給者の会社名称、住所及び電話番号	シスメックス株式会社 〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1丁目5番1号 シスメックス株式会社 テクノパーク 〒651-2271 神戸市西区高塚台4丁目4番地の4 TEL : (078)991-1911 TEL : (078)991-1911
緊急連絡電話番号	
推奨用途	臨床検査測定用
使用上の制限	推奨用途以外への使用は禁止する

2. 危険有害性の要約

化学品の GHS 分類	
物理化学的危険性	区分に該当しない
健康に対する有害性	急性毒性（経口） 区分 4
環境に対する有害性	区分に該当しない
GHS ラベル要素	
絵表示	 GHS07
注意喚起語	警告
危険有害性情報	H302 飲み込むと有害
注意書き	
安全対策	該当しない
応急措置	P301 + 飲み込んだ場合：気分が悪い時は医師に連絡すること。 P312
保管	該当しない
廃棄	P501 内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄処理業者に業務委託し、廃棄すること
GHS 分類に関係しない又は GHS で扱われない他の有害危険性	情報なし

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の區別	混合物
成分の化学名	エチレングリコール
濃度又は濃度範囲	99% (w/w)以上
CAS 番号	107-21-1
化審法 官報整理番号	化審法官報整理番号 2-230
安衛法 官報整理番号	既存

4. 応急措置

必要な応急処置の説明	
吸入した場合	直ちに被災者を毛布等にくるんで安静にさせ、新鮮な空気の場所に移し速やかに医師の手当てを受ける。
皮膚に付着した場合	直ちに汚染された服や靴を脱がせ、付着または接触部位を多量の水を用いて洗い流す。外観に変化が見られたり、痛みが続く場合は医師の手当てを受ける。
眼に入った場合	直ちに多量の水で十分に洗い流し、医師の手当てを受ける。
飲み込んだ場合	直ちに医師の診察を受ける。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状	情報なし
応急措置をする者の保護に必要な注意事項	情報なし

5. 火災時の措置

適切な消火剤	水、粉末消化剤、乾燥砂、二酸化炭素
使ってはならない消火剤	情報なし
火災時の特有の危険有害性	情報なし
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	消火作業の際は、必ず適切な保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置	漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。作業者は適切な保護具（8. 曝露防止措置及び保護措置の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。
環境に対する注意事項	河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	乾燥砂、オガクズ、ウエス等で吸収し、密閉できる空容器に回収する。後で廃棄処理する。大量の場合、液体の前方に堰を作り、後で廃棄する。
二次災害の防止策	情報なし

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
安全取扱注意事項	目、皮膚、衣服につかないように注意する
衛生対策	情報なし
保管	
安全な保管条件	2~35°Cで直射日光・粉塵等を避けて保管する。天地無用。 火気厳禁。強酸化剤、強酸、強塩基から離して保管する。
安全な容器包装材料	密封可能な容器

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度等	
日本産業衛生学会	情報なし
ACGIH	TLV : 100mg/m ³ (天井値) A4 (人における発がん性が分類できていない物質 (ACGIH 2004))
設備対策	情報なし
保護具	
呼吸用保護具	必要に応じて保護マスクを着用する
手・皮膚の保護具	保護手袋、保護衣を着用する。
眼、顔面の保護具	必要に応じて保護眼鏡を着用する
特別な注意事項	情報なし

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	粘性液体
色	黄色澄明
臭い	無臭
融点／凝固点	-13°C (エチレングリコールとして)
沸点又は初溜点及び沸騰範囲	198°C (エチレングリコールとして)
可燃性	データなし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	データなし
引火点	111°C (エチレングリコールとして)
自然発火点	398°C (エチレングリコールとして)
分解温度	データなし
pH	データなし
動粘性率	データなし
溶解度	水に易溶
n-オクタノール／水分配係数 (log 値)	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び／又は相対密度	1.113 (20/4°C)

相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし
その他のデータ(放射性、かさ密度、燃焼持続性)	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	データなし
化学的安定性	通常の条件下では安定
危険有害反応可能性	データなし
避けるべき条件	火気厳禁。直射日光・粉塵等を避ける。凍結させないこと。
混触危険物質	強酸化剤、強酸、強塩基
危険有害な分解生成物	燃焼により有害なガス（一酸化炭素、二酸化炭素）を発生する。

11. 有害性情報

急性毒性	
経口	データ不足のため分類できない
経皮	データ不足のため分類できない
吸入	データ不足のため分類できない
皮膚腐食性／刺激性	データ不足のため分類できない
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	データ不足のため分類できない
呼吸器感作性又は皮膚感作性	データ不足のため分類できない
生殖細胞変異原性	データ不足のため分類できない
発がん性	データ不足のため分類できない
生殖毒性	データ不足のため分類できない
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	眼、気道を刺激する。腎臓、中枢神経系に影響を与える。腎不全、脳損傷を生じることがある。意識低下を引き起こすことがある。（エチレングリコールとして）
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	中枢神経系に影響を与え、眼の動きの異常(眼振)を生じることがある。（エチレングリコールとして）
誤えん有害性	データ不足のため分類できない
その他の情報	情報なし

12. 環境影響情報

生態毒性	
水生環境有害性、短期(急性)	情報なし
水生環境有害性、長期(慢性)	情報なし
残留性・分解性	情報なし

生態蓄積性	情報なし
土壤中の移動性	情報なし
オゾン層への有害性	情報なし
その他の有害性	情報なし

13. 廃棄上の注意

化学品（残余廃棄物）当該化学品が付着している汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報 残余廃棄物	多量の可燃性溶剤・重油等の助燃剤と共に、アフターバーナー及びスクラバー（アルカリ洗浄剤）等の排気設備を備えた焼却炉の火室へ噴霧し、焼却する。 廃棄する際には法令及び各都道府県の条例等に従って適切に処理する。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。
付着している汚染容器及び包装	内容物を除去した後、法令及び各都道府県の条例等に従って適切に処理する。

14. 輸送上の注意

国際規制	
航空規制情報 (ICAO/IATA)	輸送危険物には該当しない
国連番号	非該当
品名 (国連輸送名)	非該当
国連分類 (危険有害性クラス)	非該当
容器等級	非該当
海上規制情報 (IMO)	輸送危険物には該当しない
国連番号	非該当
品名 (国連輸送名)	非該当
国連分類 (危険有害性クラス)	非該当
容器等級	非該当
海洋汚染物質	非該当
MARPOL73/78 付属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質	非該当
国内規制	
航空規制情報	輸送危険物には該当しない
海上規制情報	輸送危険物には該当しない

陸上規制情報	消防法の規制に従う
輸送又は輸送手段に関する特別の安全策	容器、包装に漏れのないことを確認し、転倒、落下損傷のないように積載し、水濡れ及び荷崩れの防止を確実に行う。 凍結させないこと。直射日光・粉塵等は避ける。天地無用。

15. 適用法令

薬機法	非該当
安衛法	該当：エチレングリコール（ラベル表示・SDS 交付義務 対象物質 政令番号 規則別表第 2 の 261）
化管法	非該当
毒劇法	非該当
化審法	該当：エチレングリコール（官報整理番号 2-230 優先評 価化学物質）
水質汚濁防止法	非該当
航空法	非該当
船舶安全法(危険物船舶運送及び貯蔵規則)	非該当
消防法	該当：エチレングリコール（第三石油類 水溶性液体）
イスラエル法 挥発性有機化合物の特別税法	非該当

16. その他の情報

その他の情報	本 SDS は JIS Z7253:2019 に準拠して作成しています。 ここに記載された情報は、シスメックス株式会社の最善の見地に基づくものですが、情報の完全さ、正確さを保証するものではありません。本品の適正に関する決定は使用者の責任において行ってください。
略語	ACGIH : アメリカ合衆国産業衛生専門官会議(American Conference of Governmental Industrial Hygienists) TWA : 許容濃度(Time-Weighted Average) ICAO : 国際民間航空機関(International Civil Aviation Organization) IATA : 国際航空運送協会(International Air Transport Association) IMO : 国際海事機関(International Maritime Organization) IBC コード : 国際バルクケミカルコード(International Code for the Construction and Equipment of Ships Carrying Dangerous Chemicals in Bulk) 薬機法 : 医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律

データの主要な文献参照と出典

安衛法：労働安全衛生法

化管法：化学物質排出把握管理促進法

毒劇法：毒物及び劇物取締法

化審法：化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律

NITE：独立行政法人製品評価技術基盤機構 (National Institute of Technology and Evaluation)

NITE GHS 分類公表データ